

日教組香川 2016. 9



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F
TEL 087-802-1640
FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp
発行人 嶋村太伸
毎月1日発行



五十年前 この沖縄に
おそろしい戦争がやってきた
人々は何の罪もないのに犠牲になり
花や木も真っ黒に焼け焦げ
なにもかなくなってしまう
戦争は多くのお父さん お母さん
おじいちゃん おばあちゃん
兄弟 姉妹たちをうばった
戦争はこれから 将来 未来にかけて
ぜったいあってはいけない
今 私たちはそのことを考え
そういう 社会をつくりたい

一九九五年十二月
読谷村児童生徒一同

子どもたちの思いに応えたい

8. 6県教育研究集会

わかる授業・楽しい学校をつくろう

8月6日(土)、13時から、高松市のルポール讃岐で、「2016年度日教組香川教職員組合教育研究集会」を行いました。

第1部では、高知県の元校長で、日教組高知組合員でもあった、千斗枝(せんとし)グローバル教育研究所代表の山中千枝子さんの講演がありました。

第2部では、日教組香川組合員3人からリポートがありました。



山中千枝子さん(千斗枝(せんとし)グローバル教育研究所代表)

第1部

山中千枝子さんから、「子どもの命、守れますか。～ネットトラブルとネット中毒～」と題した講演をしていただきました。

高知県の中学校教員から、高知県人権啓発センターや教育事務所等を経て、小学校校長になる中で、子どもたちや保護者、地域の人たちの出会い、人権教育の実践を深めてこられました。そして、退職後も人権教育・啓発に関する研修やイベント等の企画や運営をされていました。さらに近年は、ゲーム中毒やスマホ中毒の子どもたちと出会い、長時間の使用による脳内麻薬状態になっていることから、保護者からの相談も多くなっているそうです。

今回の講演では、インターネットやゲームから子どもを守るために、

就寝時間の2時間前にはパソコン等から離れるなど、具体的にどうすればいいか示唆をしていただきました。また、デジタル教科書のタブレットの危険性も指摘していただきました。

第2部

森川宏子さん(丸・垂水小)からは、「支援学級からのアプローチ～算数 棒グラフの導入場面の指導～」の実践報告がありました。

5年、4年、2年の3人の学級で、事前生活単元の時間を使って「空き缶積みゲーム」を行い、算数の平面上に積んだ空き缶の高さを表す学習から、グラフを読むことにつなげたようです。そして、3人の子どもたちにそれぞれの課題解決につなげていったそうです。

今回の授業を通して、特別支援学

級での取り組みが、通常学級での授業でも生かせること、同じような活動でも学級の実態によって価値が異なることなど、いくつもの気づきを得ることができたそうです。



森川宏子さん(丸・垂水小)

角友清志さん(さ・長尾小)からは、「3年生の算数を丁寧に指導しています」の実践報告がありました。

楽しく算数が学べるようにと考え、担任の眼を通して見る子どもの実態から単元を構成し、教材や教具を考え指導した「たし算とひき算の筆算」では、繰り上がりの1を書く欄があるワークシートやタイルを使ったり、「一億までの数」では、方眼用紙を使ってそれぞれの位の数字の意味を理解させていった実践でした。

タイルという教具を使うことは、「構造化された教育環境を用意」することであり、タイルを通して「分かった」「できた」という経験を積み「有能さへの欲求」が満たされてきていると感じたそうです。



角友清志さん(さ・長尾小)

嶋村京子さん(高・川岡小)からは、「子ども共に創る授業 国語科(書写)」の実践報告がありました。

6年生になると、自分の字を修正することは大変ですが、配列に気をつけて書くだけで見た感じは随分変わることから「配列よく文字を書こう」の単元を構成したそうです。

そして、授業では、用具の準備や片付けに時間がかかる筆を使わず、クラスの人数分の筆ペンを準備したそうです。書写が嫌いな理由の一つである筆を使用しないために用具を工夫したことで、子どもたちの学習意欲も高くなったという実践報告でした。



嶋村京子さん(高・川岡小)

リポートについては日教組香川書記局までお問い合わせ下さい。

人事院勧告出される

月例給・ボーナスともに引き上げ

8日、人事院は、2016年度の国家公務員一般職の月例給を平均708円(0.17%)、一時金(期末・勤勉手当)を0.10カ月分(年間支給月数は4.30カ月分)それぞれ引き上げるよう国会と内閣に勧告しました。引き上げ勧告は3年連続です。しかし、民間の伸び率が鈍化しているのを踏まえ、上げ幅は14年度の1090円、15年度の1469円を下回りました。

さらに、配偶者手当は13,000円から6,500円に、子への手当は6,500円から10,000円に勧告されています。

今後は、臨時国会において勧告等の完全実施を求めて、中央でのとりくみが重要になってきます。また、今回の勧告対象は国家公務員ですが、香川県においては、この人事院勧告をもとに、県人事委員会勧告が10月出される見込みです。

○ 本年の給与勧告のポイント

月例給、ボーナスともに引上げ

- ① 民間給与との較差(0.17%)を埋めるため、俸給表の水準を引き上げるとともに、給与制度の総合的見直しにおける本府省業務調整手当の手当額を引上げ
- ② ボーナスを引上げ(0.1月分)、民間の支給状況等を踏まえ勤勉手当に配分

給与制度の改正

- ① 給与制度の総合的見直しについて、本府省業務調整手当の手当額を引上げ
- ② 配偶者に係る扶養手当の手当額を他の扶養親族と同額とし、子に係る手当額を引上げ
- ③ 専門スタッフ職俸給表に4級を新設

子どもたちに平和な未来を

2016母と女性教職員の会全国集会

「2016母と女性教職員の会全国集会」が、8月1日～2日に東京で開催されました。

今年のテーマは、「子どもたちに平和な未来を～護ろう 憲法 新たな決意を今ここから～」。講演や公演、母親実行委員による構成詩などにより、「未来を託す子どもたちのために、平和憲法を護ること、世界に誇れる憲法9条を護る」ことを確認しました。

他人ごとじゃない

世界の状況

森川宏子(丸・垂水小)

8月1日の全体会には、県代表他4名が参加しました。全国から集まった母親と女性教職員の代表者による創作詩の朗読「あんぽと今夜のばんごはん」と中沢けいさんの講演・

朴慶南さんによる公演がありました。今、日本が「戦前」にあることを感じ、テロや紛争が絶えない世界の状況が他人ごとでないことだと感じました。

8月2日、日教組香川からは「いじめ・不登校」の分科会で問題提起、「障害児の共生・共学」の分科会での司会など、分科会に分かれて参加



第6分科会から

しました。

「障害児の共生・共学」の分科会では、全国の共学の実践や保護者の体験や思いなどが語られました。

不登校については、母親の立場や教師の立場で経験した不登校のケースについて、様子や対応が語られました。

子どもの人権や将来を見据えた体験談を共有することができて、意義ある大会でした。

東京教組 オキナワ STUDY TOUR 2016 参加報告記

嶋村太伸(高・栗林小)

8月17日(水) 1日目

那覇空港に、神戸空港発SKY591便は、長い時間低空で進入した。窓からは、決して瀬戸内の海では見えない「蒼さ」を見ることができ、オキナワに来たことを感じる。しかし、実はこの長時間の低空飛行も、米軍機の航路優先のためなんだと、後に説明を受ける。空港に着陸するなり、しばらく飛行機は滑走路で待機。すぐ後ろをF15戦闘機2機が爆音をたてて離陸していく。あらためてこれが「オキナワの現実」なんだと実感する。



空港から、いとちゃんバスに乗って平和祈念公園に向う。『東京教組 オキナワ STUDY TOUR 2016』に合流するためだ。東京教組は2回目のツアー。日教組香川は、この企画にちゃっかりあいのりして、3泊4日、しっかり沖縄戦や米軍基地の現状を知り、沖縄の自然と文化を感じることにしている。



平和祈念資料館で本隊に合流。平和の礎(いしじ)の平和の広場で、山内榮さん(元琉球大学非常勤講師)から、平和祈念資料館や平和の礎(いしじ)のコンセプトが、「沖縄からの平和の発信」であることを聞く。平和の礎(いしじ)に刻まれている人たち、まだ刻まれていない人たちも含め、多くの方々が沖縄戦で亡くなられたこと。これが戦争の事実であり、平和を求める気持ちを再度確信する。

魂魄の塔に行く。戦後すぐに住人たちの手で、周辺に散在していた遺骨が収集され、塔が建立されたとのことだ。そして、摩文仁の国立沖縄戦没者墓苑には遺



骨がないので、ここから国が遺骨を強引に持っていった話を聞く。住人の思いを無視し、強引に自分たちの方針を貫くスタンスは、今も変わらない。辺野古も高江も。



ガラビ壕に行く。最終的に約1000名の負傷兵を收容する野戦病院になり、看護要員として県立第二高女の5人の「白梅学徒」も派遣されていたとのことだ。5月31日の首里司令部陥落後、原隊に復帰せよの命令を受けても動けない重傷兵達500名には、青酸カリが配られ自決を促し、さらに衛生兵たちが日本刀や銃剣で刺殺していったという事実。そして、その衛生兵たちも自決していったという。生き残った衛生兵の方の、「同級生を殺してしまった。」という証言に、戦争が起こす悲惨さに沈黙してしまう。ライトを消した闇の中で、「闇の方がよかったって、そのほうが見たくないものを見なくていいから」と話をされた。

この暗黒の時代、見ささないようにしてるなら、見てやろうじゃないか、俺はいつも思う。



夜は、コザ泊。17日旧盆。街ではエイサーが踊られていた。

8月18日(木) 2日目



くすぬち平和文化会館へ行く。「くすぬち」とは「くすのき」のこと。戦前、館長の眞榮城玄德さんの実家の庭には楠木が植えられていて、館長のお祖母さんは、その楠木でタンスを作るのが夢だった。しかし、戦後、米軍基地に没収され、故郷にもどれなくなり、お祖母さんが嘆き悲しむ中、館長さんは、軍用地の強制使用を拒否し、その補償金を元にくすぬち平和文化館を建てたとのこと。絵本の本屋や集会室もあり、子どもたちの集まる場になっている。



道の駅「嘉手納」に行き、嘉手納基地を一望する。すぐそばにある「安保の丘」は草むらになっていたけど、かつてそこから基地をみたことを思い出す。「抑止の基地でなく前線の基地」と話を聞く。



読谷村めぐりでは、まず、チビチリガマへ。チビチリガマでは、鬼畜と教えられたアメリカ兵の残虐な仕打ちを恐れて、肉親相互が殺しあうという「集団自決」が行なわれ、この洞窟への避難者約140人の内、83人が最期を遂げたということ。

一方、同じ地域のシムクガマでは、ハワイからの帰国者2人が、「アメリカガー、チュォクルサンドー(アメリカ人

は人を殺さないよ)」と、騒ぐ避難者たちをなだめ説得して、投降へと導き、1千人前後の避難民の命が助かったということ。あらためて、事実や真実をちゃんと見ることの大切さを確信する。



不戦の誓いの碑では、子どもたちの宣言に目がとまる。「戦争はこれから将来 未来にかけて ぜったいにあってはいけない 今 私たちはそのことを考え そういう 社会をつくりたい」大人の責任として、子どもたちの思いを実現させなければならないと思う。



座喜味城址に行く。高台から海を望み、蒼い空を感じる。平和な時はいつくるのだろうか。

「平和は願うだけでなく、行動によって創り出すもの」読谷村から学ぶ。

8月19日(金)



辺野古に行く。海岸の座り込みテントで、ヘリ基地反対協の安次富浩さんの話を聞きながら、国がやろうとしているV字滑走路をイメージしてみる。滑走路と強大な建物が辺野古の海と空を引き裂く。元々普天間基地の代替でないのに、今の計画はさらに基地機能の強化をするものだという。「戦争への負担に繋がる」「加害者にならない」「平和な島にしたい」。話には説得力があった。

キャンプシユワブのゲート前に行く。9ヶ月ぶりのゲート前は、多くの人が那覇での裁判に行かれていて静かだったが、高江での大変さも聞く。

「基地で土地を奪って、さらに土地を奪うなんて、居直り強盗のすること」「民意の無視することは、地方自治の崩壊」Tシャツを買う。「負けない方法・・・勝つまでずっと諦めないこと」



佐喜眞美術館で故・丸木位里、俊さんの「沖縄戦の図」を見る。実はこの絵の存在を知らなかった。部屋一面の大きなキャンパスの描かれた沖縄戦。その絵が描かれている人、人、人・・・に圧倒される。館長さんから話を聞く。人の眼に玉がないこと。唯一、三人の子どもたちだけ眼の玉が描かれている。その子どもたちには生があり希望があるのだと。



美術館の屋上、そして嘉数高地から普天間基地を見る、講師の山内さんから「今をみるために過去と対話しなきゃ、

未来も見えない」と話があった。沖縄戦と戦後、そこに現れた大きな矛盾の上に、今の日本がある。香川にいる俺は、どうオキナワと連帯するのか。そう考えると、自分の見た、そして感じ、学んだオキナワを身近な人に伝えることかなあと思う。

8月20日(土) 4日目



4日目は自由行動。そこで、選択したのはグスク。世界遺産に登録されている中城城址へ行く。

記念運動場から石垣や裏門を見た瞬間に、引き込まれしもう。郭の中に入っていくと、そこはまた一つの別世界。さらに石垣の上から太平洋を望む。かつてここからどのような風景が見えたのか。そして、人々はどんな生活をしていたのか、と思いを馳せてしまう。

この後、中城城を築いたと言われる護佐丸の墓と約280年前の代表的な農家を残す中村家住宅に行く。

様々なオキナワ文化は、心を落ち着けてくれる。だから何度でも機会があれば来なくなる。

もちろん、オキナワには、その歴史と現在に様々な矛盾を抱えている。そのことで、時には怒り、時には自分の無知と無力をあらためて知ることになるが、そんな自分を静かに見ていてくれる、そんな「オキナワ」がある。それをあらためて実感した4日間だった。

東京教組に感謝！来年は日教組香川のなかまと参加します！

この間、FBをしていたが、オキナワに住んで、今一時帰省している教え子からコメントがあった。

「夕方のニュースみてくださいね。こっちでは報道されていないことが流れています！」「基地のこと、尖閣のこと...こっちではほとんど報道されませんが、沖縄は毎日報道されています。同じ日本なのに温度差を感じますね。先生、沖縄の綺麗な空と海で癒されてくださいね～」

今、教え子に返信したい。「オキナワの事実を、またいっぱい知ったぜ。蒼い海と空もいっぱい感じた。また、オキナワに戻ってくる」と。

平和は願うだけでなく、行動によって創り出すもの

教育実践講座 I

子どもは算数のどこで躓くのか?④

石原清貴(元小学校教員)

～計算カード～

夏休みに入りました。どの子どもたちも沢山の宿題を抱えて私の所にやってきます。7月の間は午前中に宿題をやっつける無料塾をやっているからです。

さて、1年生の子どもたちが計算カードなる物を持ってきて、「これ



を一日1回やらないといけない」と言うではありませんか!しょうがないので、私がカードを

めくって問題を読み子どもが答えるというスタイルでカード暗誦を始めました。ところが $3+4$ とか $7-3$ になると答えが出てきません。ふとみると指を使ってもぞもぞしていません。

そこで、タイルを持ってこさせて、実際に $3+4$ をやらせました。私は $5\cdot 2$ 進法のタイルを使うので子どもたちには好評です。 $5\cdot 2$ 進法タイルというのは5をひとかたまりにしているから一目でいくつか分かるのです。

そんなわけで、この間からこのタイルそろばんを使って足し算引き算

カードの暗誦を行っています。

でも、こんな道具なしで、カード暗誦を繰り返したらどうなるでしょう?そうです。計算は暗記するものだと思います。計算は暗記するものだと思います。



石原清貴氏

算数は確かな物と物の操作に基づいて形成される数理の世界です。確かな物と操作に基づかない計算カード暗誦は慎むべきでしょう。もし、カードを使った計算指導をするのであれば、傍らにはブロックやタイルを用意していて、答えに自信が持てないときには操作して答えを確かめようようにしたいものです。

大先輩から現場教職員への伝言(10) 戦後の教育⑥

今こそ「教え子を再び戦場に送らないための民主教育」を

香川県退職教職員協議会 会長 大林浅吉

○安保闘争

1960年6月4日、安保阻止第一波実行使で国鉄・動労がストライキで一番列車のコダマをストップさせたが、日教組部隊も前夜から泊まり込み、夜明け前から東京駅前の中央郵便局前に座り込み、私も参加しました。これを最後に香川県へ帰り香教組書記次長等を務めました。日教組本部へは仲多度郡の三好正美君が出てくれました。

安保闘争はさらに激しく闘われ、6月15日第二波実行使では、全学連が国会に突入、東大生樺美智子さんが警官隊に殺されました。6月19日安保条約は自然成立となりましたが、この日の抗議デモに香川県総評部隊に加わって私も参加しました。国会周辺の樹木の皮が擦り切れてつるつるになっていて、15日頃のデモのすさまじさを示していました。

7月15日岸内閣は総辞職して、19日池田勇人内閣が成立しました。

○全国一斉学力テスト

1961年10月26日、全国一斉学力テストが強行されました。1962年7月11日、2年連続で全国一斉学力テストが行われ、久保田英一香川県教育長は香川県が2年連続日本一になったと宣伝します。この年から県教育長が先頭になって、出張所長・校長、さらに保守的な町長・町教育長等から厳しい脱退工作

が行われます。年配の教員には「組合に残っていても教頭や校長になれないぞ。」若い教員には「へき地へ転任させられるぞ。」「教育研究会の役員になれぬぞ。」等々あらゆる手立てで脱退させられ、この年で組合員が半減してしまいました。

勤評で教員をしばり、教育課程の改定で教育内容を統制し、学力テストで点検する。邪魔をする教員組合はつぶしてしまえ。これが政府自民党の反動文教政策です。

○学力テスト調査団来県

1964年6月4日～10日、日教組が編成した「香川・愛媛文部省学力調査問題学術調査団(責任者:宗像誠也・梅根悟)が来県し、その報告書で教育行政当局ははなはだ非協力であったが、きわめて困難な事情の中で、多くの教師と父母が協力してくださいました。

(次号へ続く)



大林浅吉プロフィール

- ・1922年
4月に生まれ、現在94歳。
- ・1955年
4月香川県教職員組合の専従役員となり、1975年まで務める。

日教組香川 応援企画

遠藤まめたさんによる
「大人には見えにくいLGBTの子どもたち」。

暑いなかご来場ありがとうございました。
LGBTの基礎知識はもちろんのこと、子どもたちにどう向き合うか、大人としてできることは何か? など、中身の濃いお話になりました。後半のワークショップでは、漫画を題材に使い、今後起こりうるかもしれない状況を想像

しながら、みんなで考え意見を出しました。来場者がもっと増えてくれたらなあとの期待を込めて、まめたさんありがとうございました!

白神 (プラウド)



先生と 親のための LGBTガイド

もしあなたが
カミングアウトされたなら



遠藤まめた (著)
(「やっぱ男が主」 idononet 代表)

合同出版

**LGBTの
子どもたちが
教職員が
すごしやすい学校を**

DIVERSITY MEANS

from THE NOUP, OKAYAMA
MANISDRON
TURNCOAT
フルイカズキ
OFF-END
ハナメガネ OPENING ACT

FOOD: VEGRECA
(VEGAN FOOD)

2016.10.01(sat) @TAKAMATSU TOONICE
ADV / DOOR 1500/2000 yen(+1drink)
OPEN 18:00/ START 18:30

info:vernacular1968@nifty.com

かがわ文化芸術祭2016参加行事

第12回 LGBTをテーマにした映画祭

香川レインボー映画祭

2016年11月20日(日) 13:00~19:00 情報通信交流館 e-とびだ・かがわ

1プログラム1,300円 高校生以下、65歳以上、障害者は無料

Tea, Coffee and Cakes

抹茶
ホットコーヒー
ゼリー

JTU-Kafe Open

pm 6:30-8:30 Fri, Sep 9, 2016

Sato Bldg. 1F 15-24 Nakano-cho Takamatsu-city, KAGAWA

tel. 0120-27-5925 fax.087-802-1642

「JTU-Kafe」は「JTU-Kagawa (日教組香川)」と「Cafe」を組み合わせた造語です。組合事務所で
執行委員が、お待ちしております。相談ごとなどありましたら、お気軽にお越しください。飲み物とお菓子を用意してい
ます。電話やファックスでの相談もできます。なお、日教組香川組合員で無い方も歓迎です。ただし、その場合、お茶代
500円をいただきます。

家財の備えも
重要です！

火災共済

住宅災害等給付金付火災共済

自然災害共済

例えば落雷でテレビが壊れてしまったら...

火災共済
から

家財契約があると...

契約合計口数×1,000円
または実際の損害額
いずれか少ない金額が支払われます。



家財契約がないと...

補償はありません。

ご自身の火災の補償を確認してみてください！

「持ち家で建物契約しかしていない」方や、「賃貸住宅だから自分では火災
保険(共済)に入っていない」という方はぜひ家財契約をしてください。
いざという時補償が受けられないことがないよう、契約内容をご確認ください。

お問い合わせは
0120-27-8140へ

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東四国事業所

〒760-0004 高松市西宝町二丁目 6-40 香川県教育会館 6階

電話 087-813-0775 FAX0800-200-2207

カナリア通信

いい感じでスタートを

◆夏休みは、一学期の仕事
を振り返ったり今後に向け
て落ち着いて考えたりでき
る貴重な時間です。今年は
自分だけでなく子どもものく
らし方について、これから
考えていかねばならないと
思いました◆八月六日にあ
った県教研で、「子どもの
命、守れますか。―ネット
トラブルとネット中毒―」
という講演をききました◆
スマホの青い光が脳内でド
ーパミンを増加させること
、覚せい剤と同じ働きがあっ
て中毒性が高いという危険
があることが話されました。
利便性が高くて、危険な道
具とどう付き合うか、「九
時にはスイッチを切る」こ
との大切さなどを学びまし
た◆新学期、生活リズムを
学校のリズムに戻すことが
大切だと言われています◆
「眠る二時間前にはスマホ
のスイッチを切る」という
項目を取り入れて、二期
のスタートをいい感じにし
ていけるようにしたいです